

令和3年度 第1回環境共生まちづくり専門部会 議事要旨

日時：令和3年7月29日（木） 14：00～16：30

場所：北区役所 第一庁舎4階 第二委員会室

【出席者】

<委員>

部会長：品川 明	委員				
水川 薫子	委員	原 芳子	委員	林 四郎	委員
尾花 秀雄	委員	高橋 伸忠	委員	鰐淵 雄二郎	委員
松本 晴光	委員	原 茂樹	委員	鈴木 優羽	委員
吉田 美咲	委員				

<事務局>

雲出 生活環境部長	佐野 生活環境部環境課長
浦野 生活環境部リサイクル清掃課長	荻田 北区清掃事務所長
丸本 まちづくり部都市計画課長	杉戸 土木部土木政策課長
荒井 土木部道路公園課長	持田 地域振興部地域振興課長
畔柳 教育振興部教育指導課長	

環境課環境政策係／環境規制調査係／自然環境みどり係

【次第】

1. 開 会
2. 委員・事務局紹介
3. 議 事
 - (1) 計画改定の基本的事項
 - (2) 現行計画の進捗状況
 - (3) 区の概況、国・都の動向
 - (4) 気候変動適応計画のあり方
 - (5) 区民・事業者意識意向調査報告
4. 閉 会

【傍聴人】 1 名

【配布資料】

- 次第
- 委員名簿
- 北区環境基本計画改定方針（概要版）
 - 資料（１）１ 検討スケジュール
 - 資料（１）２ 計画の位置づけ
 - 資料（１）３ 計画の目標・施策体系
 - 資料（２） 現行計画の進捗状況
 - 資料（３） 区の現況、国・都の動向
 - 資料（４） 気候変動適応計画のあり方
 - 資料（５） 区民・事業者意識意向調査速報
 - 追加資料 各専門部会のテーマ

【議事要旨】

1. 開 会
2. 委員・事務局紹介
3. 議 事

議事（１）計画改定の基本的事項

議事（２）現行計画の進捗状況

議事（３）区の概況、国・都の動向

※議事（１）～（３）をまとめて行った。

○事務局

〈資料説明〉

- ・北区環境基本計画改定方針（概要版）
- ・資料（１）１～３ 検討スケジュール、計画の位置づけ、計画の目標・施策体系
- ・資料（２）現行計画の進捗状況
- ・資料（３）区の現況、国・都の動向

〈説明要旨〉

- ・本計画改定の基本的な４つの考え方（「脱炭素」の考え方に基づくロードマップの明示、SDGsの考え方を取り入れた総合性の高い計画づくり、気候変動への適応と持続可能でレジリエントな都市づくり、コロナ禍からのグリーン・リカバリー）
- ・今年度の目標は、環境基本計画の骨子案の作成。本計画は、新たに気候変動適応計画を含むものであり、骨子案のなかに、気候変動適応方針を盛り込む。また、「地球温暖化対策地域推進計画」も本計画と一体化させる。
- ・環境・経済・社会の統合的視点から、区の施策全体を環境面から支える計画として策定、北区基本構想や関連計画を所管する庁内関係各課と連携を図り進めていく。
- ・施策体系について。現行の４つの基本目標を５つに組み替えた案を示した（資料（１）３及び追加資料）。本部会では主に追加資料において黄色で示す内容について議論。

- ・現況評価として、全体的に環境に対する区民の満足度は概ね向上している。環境情報の発信について、特に事業者に対する発信に工夫の余地がある。まちの美化については満足度が低下しており課題である。生物調査をしっかりと行っているのは評価ポイント。

〈質疑応答〉

○委員

追加資料で示されている施策のひとつに「脱プラスチック、フードロス削減」とあるが、「北区フードロス削減計画」を確か作られていると思う。

○事務局

現在策定中である。7月1日～7月30日までパブリックコメントを実施している。

○委員

外来種の状況は把握されているのか。具体的な話をするために、貴重な情報かと思う。

○事務局

今回の資料には掲載していないが、把握している。基礎調査の報告書で報告させて頂く。

○委員

プラスチック資源循環促進法について、あくまで公布（2021年6月11日）から1年以内に施行ということとなっているので、「2022年4月施行」という表記には注意した方がよい。

○委員

資料（2）4ページの化学物資の適正管理に関する情報発信の△評価の趣旨は。

○事務局

主に化学物質を多く使う業者向けに情報発信を想定した項目である。最近でいえば水害の際の管理方法など。今後、HP等で情報発信していければと思っている。

○委員

ごみは減っているとのことだが、具体的な対策の効果や減少理由を示す事はできるか。

○事務局

リサイクルが進んでいる結果として、ごみの量が減ってきていると考えている。

○委員

区内の電力量に対して3.2%が再エネ由来というのは、他と比べると多いのか少ないのか。

○事務局

東京都の区部であれば概ねこの程度の数字でなる。郊外にいけばいくほど再エネの設置が可能な場所が増える。

○委員

今後延びる余地はあるか？

○事務局

あると思う。

○委員

区の環境に対する満足度について、区民へのアンケートはどのように実施したのか。地域によって随分差がでるのかと思うが。

○事務局

資料（５）の説明の際、詳しく説明いたしますが、住民基本台帳から無作為に抽出してアンケートを送付している。地域ごとの人口は考慮している。

○部会長

次期計画の施策体系について、足りない視点・項目などあればご意見頂きたい。

○委員

環境教育について。現在は、自分から学びに行かないと学べない。義務教育の一貫で、先生だけでなく大学生など学生が教えるという機会があるとうれしい。

○事務局

総合的な学習の時間で、環境教育をテーマにして学習している学校もある。外部の方を入れながら、学習を深めることもできるのではないかと思う。

○部会長

学校へのコンタクトの方法やカリキュラムの組み方などで可能性があるということですね。

○委員

授業の時間の中から確保するのは難しいであろうから、昼休みや朝活動の時間を有効活用するなどわずかな時間でも機会があればと思う。

○部会長

参加型だけではなく、小学校や中学校から家庭への環境教育という施策を盛り込むという視点でしょうか。

○委員

事業者として環境展に参加しており、小学校４，５年生を対象にリサイクル授業を行っている。子供たちは、リサイクル後、生まれ変わった先のものに興味を持っている。例えば、ヨーロッパのサッカーチームのユニフォームがPETリサイクルでできているなど。脱プラスチックについて、生まれ変わったものを使うというところについては、少し遅れている印象もある。持続可能な資源循環の輪が途切れないようにしてほしい。東京オリンピックでのメインダイニングでは細かい分別が行われている。大型イベントでは、参加者に直接分別をしてもらうことが有効かと思う。

○委員

オンラインのフォーラムやセミナー、SNSなどで発信するのも一つの方法かと思う。自分から情報を検索する人に対しては問題ないと思うが、それ以外の人に対し、まず最初に興味を持ってもらうことが重要だと思う。

○事務局

区は公式のYou Tube、Twitterを実施しているが、環境課としてはなかなか活用できていない状況である。先日、省エネ道場という環境学習イベントを開催したが、You Tubeで発信できれば、来られない方も見られたりするのでやりたいと思っている。

○委員

小中学校は１人１台端末を持っている。そちらに向けて発信ができる。

○部会長

オンラインを活用するのも有効かと思う。

○委員

教員に対する研修の場を設けてもいいのかと思う。府中市の教育委員会からESGの研修会の依頼を受け、お話をさせて頂いている。また、大学のグループワークの手法などを教員の方に体験してもらっている。また、基本目標③「自然との共生」で、木材利用の推進については、木材だったらなんでもいいということでもなく、国産の木材を利用していくことが大事かと思う。

○委員

一昨年の台風で荒川が氾濫のおそれがあった。ハザードマップなどは作成されているが、施設等の取組はなされているのか。東京都が水害時の化学物質流出対策についても取り組んでおり、適応策にもなるので検討した方がいい。

○部会長

SDGsに配慮すると、貧困などの子ども食堂なども入れてもいいのではないかと思います、いかがでしょうか。

○事務局

SDGsの中では貧困対策も大事なテーマ。例えばフードドライブを子ども食堂にする等しており、今後も連携していきたいと思う。

議事（４）気候変動適応計画のあり方

○事務局

〈資料説明〉

資料（４）気候変動適応計画のあり方

〈説明要旨〉

- ・気候変動適応とは、どうしても避けられない気温上昇に伴う気候の変化による被害などを回避、軽減するための（適応策）計画。都の計画を参考にしつつ、区の特性に合わせたものとしたい。
- ・区は3年前から東京都の気候変動適応研究会に参加してきた。地球温暖化対策部会の方に研究会でお世話になった法政大学の田中先生を臨時委員として今回お招きしている。
- ・研究会の成果として、北区周辺の気候の将来予測を示した。ハザードマップの作成や雨水樹の設置など、既に自治体として様々な分野で行っている施策を適応策の視点から改めて整理する。
- ・気候変動適応計画の特徴として、過去の被害状況を参考にするというより、将来の予測をもとに対策をたてていくというものがある。適応計画の策定をきっかけに関係各課と対話を増やし、安心安全な区民生活のための施策を進めていきたい。
- ・本部会では、適応策のなかでも、雨水浸透、貯留施設、グリーンインフラ、ヒートアイランド対策での緑化などが対象になってくるかと思う。

〈質疑応答〉

○部会長

クールスポットの設置などもやっけていかれるといいと思う。

議事（５）区民・事業者意識意向調査報告

○事務局

〈資料説明〉

資料（５）区民・事業者意識意向調査速報

〈説明要旨〉

- ・ 6月に18歳以上の区民2,000人、区内に本社を置く従業員5人以上の事業所500か所に対し、調査を実施した。
- ・ 回答は、郵送とWEB両方で行えるようにし、回収率は区民が40.7%、事業者が35.4%であった。WEB回収の効果か、区民の年齢層は偏ることなく回答を得ることができた。
- ・ 今後、年齢別や業種別等のクロス集計を行い、細かい分析を行っていく。

〈質疑応答〉

○委員

事業者の結果についてどの業態についてどのような傾向がある等の分析を出して頂ければ。

○部会長

今後、クロス集計などもされていくので、なるべく早く委員に情報を共有してください。

〈全体議論〉

○部会長

フードロスについては、アンケートは事業者対象だったが、個人や家庭での取組も重要になるので、今後はアンケートにも入れてもよいのではないか。

SNSなどの情報発信など、学生さん意見、アンケート意見も踏まえ、力を入れていただきたい。

○事務局

計画をつくってもその内容が区民に届かなければ意味がないので、どうやって情報発信していくか、色々と検討していく。

その他連絡事項

○事務局

本日の検討内容については、地球温暖化対策専門部会の結果も踏まえ、次回環境審議会の方に骨子案としてお示しする。臨時委員の皆さまについては、環境審議会の資料をあわせて共有させて頂き、またご意見等伺いたい。

次回の環境共生まちづくり専門部会は、12/7を予定している。